

# 平成 28 年度札幌市アイヌ施策年次報告書

札幌市

## 序文

平成 19 年 (2007 年) に「先住民族の権利に関する国際連合宣言」が採択され、平成 20 年 (2008 年) には「アイヌ民族を先住民族とすることを政府に求める決議」が、衆参両議院の本会議で採択されたことにより、新たな政策を進める機運が高まりました。

こうした状況を踏まえ、アイヌ民族に関わる施策を総合的に推進するため、札幌市では平成 22 年 (2010 年) に「札幌市アイヌ施策推進計画」を策定しました。

この計画では、先住民族であるアイヌ民族の誇りが尊重されるまちを実現することを目的としています。

そのためには、アイヌ民族に対する市民の理解を促進するとともに、アイヌ民族の伝統文化を保存・継承・振興し、生活に関連する施策を推進することが必要となります。

この計画では、概ね 10 年間をめぐり、札幌市が取り組む施策・事業について整理しています。本年次報告書では、この計画の体系に従い、平成 28 年度に行ったアイヌ施策をまとめました。

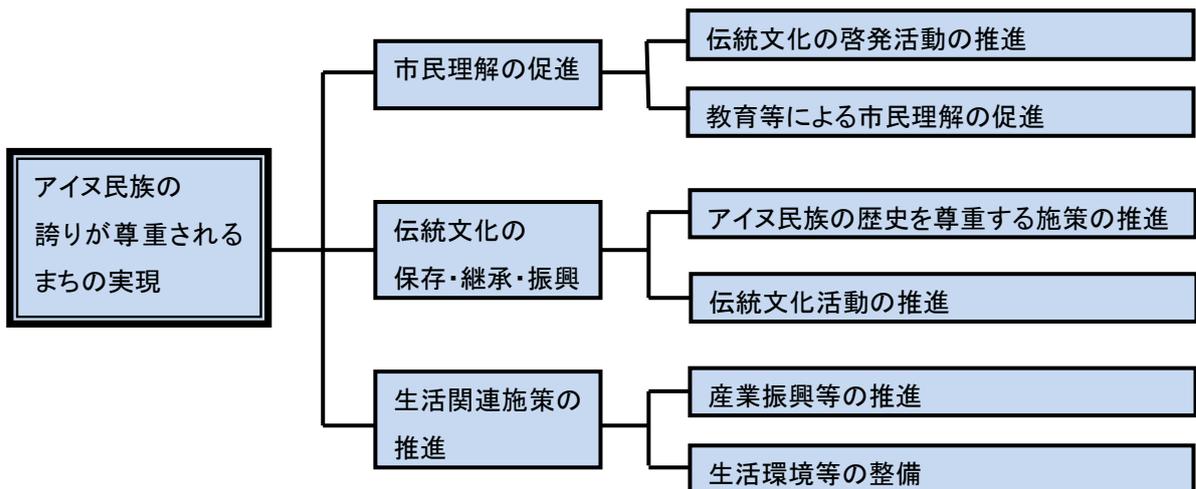
### 計画の体系

計画は、「3 つの施策目標」、「6 つの推進施策」で構成されています。

[計画の目的]

[施策目標]

[推進施策]



## 目 次

平成 28 年度札幌市アイヌ施策の実施状況	1
施策目標 1 : 市民理解の促進	1
推進施策 (1) : 伝統文化の啓発活動の推進	1
①アイヌ文化体験講座の実施	1
②アイヌ文化交流センターイベントの実施	1
③アイヌ民族古式舞踊 (輪踊り) の実施	1
④小中高校生団体体験プログラムの実施	2
⑤小中高校生団体出前体験プログラムの実施	2
⑥公共空間を利用した情報発信	4
⑦市民参加によるアイヌアートモニュメントの制作	4
⑧シーニックバイウェイ支援事業 (南区市民部)	4
⑨インカルシペ・アイヌ民族文化祭の開催を支援	5
⑩札幌アイヌ協会への補助	5
⑪アシリチェプノミ保存伝承事業補助 (市民文化局文化部)	5
⑫“イランカラテ” キャンペーンの推進	5
⑬アイヌ文化を発信する空間の整備 (まちづくり政策局都心まちづくり推進室、市民文化局市民生活部、交通局)	5
(関連事業①) 札幌芸術の森 30 周年記念 北の織 いま昔 (市民文化局文化部 (公益財団法人札幌市芸術文化財団 札幌芸術の森指定管理事業))	6
(関連事業②) 札幌アジア冬季競技大会 (スポーツ局スポーツ部 (公益財団法人第 8 回札幌アジア冬季競技大会組織委員会))	6
推進施策 (2) : 教育等による市民理解の促進	7
①新任課長職への研修の実施	7
②新採用職員への研修の実施 (総務局自治研修センター)	7
③札幌市民族教育に関する研修会 (教育委員会学校教育部)	7
④札幌市教育センター専門研修 (教育委員会学校教育部)	7
⑤札幌市研究開発事業 (研究課題)「アイヌ民族に関する教育」(教育委員会学校教育部)	7
⑥人権教育推進事業 (教育委員会学校教育部)	8
⑦生物多様性さっぽろ活動拠点ネットワーク (環境局環境都市推進部)	8
⑧児童会館事業 (子ども未来局子ども育成部)	8
(関連事業①) さっぽろ市民カレッジ 学社融合講座 (教育委員会生涯学習部 (公益財団法人札幌市生涯学習振興財団 生涯学習センター事業))	8
施策目標 2 : 伝統文化の保存・継承・振興	9
推進施策 (1) : アイヌ民族の歴史を尊重する施策の推進	9
①埋蔵文化財センターでの出土資料の展示 (市民文化局文化部)	9

推進施策（２）：伝統文化活動の推進	9
①札幌市アイヌ文化交流センターの運営	9
②イベントの実施（再掲）	9
③札幌地域イオル事業の受託及び実施	10
施策目標３：生活関連施策の推進	10
推進施策（１）：産業振興等の推進	10
①工芸品展示販売スペースの設置	10
推進施策（２）：生活環境等の整備	10
①住宅新築資金等の貸付	10
②アイヌ生活相談員・アイヌ教育相談員の配置 （市民文化局市民生活部・教育委員会学校教育部）	10
③アイヌ民族の児童・生徒の学習支援	10
④アイヌ文化交流センター及び共同利用館の改修	10

## 平成 28 年度札幌市アイヌ施策の実施状況

札幌市アイヌ施策推進計画の目的に掲げる「アイヌ民族の誇りが尊重されるまち」を実現するため、市民理解の促進、伝統文化の保存・継承・振興及び生活関連施策について、関係部局と連携しながら、以下のとおり各事業を展開した。

### 施策目標 1：市民理解の促進

市民がアイヌ民族の歴史や文化を理解できるよう、アイヌ文化交流センターや市中心部をはじめとする、市内各所において体験講座やイベントを（多数）実施したほか、教育活動等を通じて児童・生徒にも理解できるよう、体験プログラムや教職員研修等を引き続き行った。

※児童・生徒向けの体験プログラムは、予算を拡大し実施校数の増加を目指している（平成 28 年度～30 年度）。

### 推進施策（1）：伝統文化の啓発活動の推進

#### ① アイヌ文化体験講座の実施

手芸、工芸、エコツアー等の体験講座を実施した。

開催場所：アイヌ文化交流センター・区民センター（中央、東、白石、豊平、清田）・北海道大学

年度	開催回数	参加者
平成 25 年度	16 回	172 人
平成 26 年度	14 回	169 人
平成 27 年度	18 回	222 人
平成 28 年度	17 回	205 人



#### ② アイヌ文化交流センターイベントの実施

アイヌミュージック、古式舞踊、ムックリ・刺繍等製作体験、昔遊び等を実施した。

年度	開催回数	参加者
平成 25 年度	6 回	1,478 人
平成 26 年度	6 回	789 人
平成 27 年度	6 回	1,122 人
平成 28 年度	6 回	1,628 人



#### ③ アイヌ民族古式舞踊（輪踊り）の実施

アイヌ文化交流センターにおいて、来館者等によるアイヌ民族の古式舞踊（輪踊り）の体験を実施した（平成 28 年 6 月 19 日（日））。

年度	開催回数	参加者
平成 25 年度	1 回	79 人
平成 26 年度	1 回	42 人
平成 27 年度	1 回	79 人
平成 28 年度	1 回	69 人



#### ④ 小中高校生団体体験プログラムの実施

アイヌ文化交流センターにおいて、来所した小中高校生に対して伝統楽器の演奏、古式舞踊の披露、アイヌ伝統文化の体験、展示解説等を行った。

年度	参加校数 (開催回数)	参加児童・生徒
平成 25 年度	44 校 (44 回)	2,859 人
平成 26 年度	50 校 (50 回)	3,692 人
平成 27 年度	51 校 (50 回)	3,366 人
平成 28 年度	64 校 (64 回)	4,263 人



#### ⑤ 小中高校生団体出前体験プログラムの実施

遠隔地である等の理由により、アイヌ文化交流センター来所できない小中高等学校に出向き、伝統楽器の演奏、古式舞踊の披露等、アイヌ伝統文化を体験できるプログラムの提供を行った。

参加校数：9 校 (9 回) 参加児童・生徒数：747 人  
(平成 28 年度から実施)



#### i アイヌ文化体験講座

回数	講座名	実施日時	受講者(人)	会場
1	アイヌ文様刺繍(かんたんバッグ)	6月26日	10	札幌市アイヌ文化交流センター
2	アイヌ文様刺繍(チンジリのタペストリー)	7月7日	15	中央区民センター
3	アイヌの歴史と文化 (1日目)歴史と現在 (2日目)アイヌ文化について	7月21日	16	中央区民センター
		7月28日		中央区民センター
4	木彫り(ペンダント)	8月9日	7	札幌市アイヌ文化交流センター
5	アイヌ文様刺繍(コースター)	8月27日	10	中央区民センター
6	アイヌ文様刺繍(巾着)	9月8日	12	札幌市アイヌ文化交流センター
7	エコツアー(アイヌ文化の遺跡めぐりin北大)	10月1日	20	北海道大学周辺
8	アイヌ文様刺繍(ブックカバー)	10月2日	17	中央区民センター
9	アイヌ文様刺繍(レクタソベ)	10月18日	9	中央区民センター
10	アイヌ文様刺繍(ポシェット)	11月13日	10	白石区民センター
11	アイヌ文様刺繍(カパラミプのタペストリー)	11月20日	10	中央区民センター
12	アイヌ文様刺繍(ポシェット)	11月22日	14	東区民センター
13	アイヌ文様刺繍(ポシェット)	11月27日	11	豊平区民センター
14	アイヌ文様刺繍(ポーチ)	12月14日	21	中央区民センター
15	かんじきと鳥笛	12月18日	5	札幌市アイヌ文化交流センター
16	アイヌ文様刺繍(ポシェット)	2月26日	10	清田区民センター
17	アイヌ文様刺繍(ルウンペのタペストリー)	3月5日	8	中央区民センター
	合計		205	

## ii アイヌ文化交流センターイベント

回数	事業名	実施日	参加者(人)	内容
1	モニョラブチュブ	7月17日	306	①遊び体験(輪投げ遊び) ②製作体験(ムックリ製作体験) ③古式舞踊の披露、体験 ④民芸品販売
2	シニョラブ	8月21日	139	①遊び体験(イタドリを採って笛作り) ②製作体験(刺繍製作体験小銭入れ・木彫り製作体験コタンコロストラップ) ③古式舞踊の披露、体験 ④民芸品販売
3	ウレポケチュブ・アラスイ	9月17日	185	①遊び体験(輪投げ遊び) ②製作体験(ムックリ製作体験) ③古式舞踊の披露、体験
4	ウレポケチュブ・トゥスイ	9月18日	291	①遊び体験(弓矢遊び) ②製作体験(刺しゅう体験コースター作り) ③古式舞踊の披露、体験
5	スナンチュブ・アラスイ	10月15日	238	①遊び体験(弓矢遊び) ②製作体験(刺しゅう体験コースター作り)・切り絵体験 ③古式舞踊の披露、体験
6	スナンチュブ・トゥスイ	10月16日	469	①遊び体験(輪投げ遊び) ②製作体験(ムックリ製作体験) ③古式舞踊の披露、体験
	合計		1,628	

## iii 小中高校生団体体験プログラム

回数	学校名	実施日	人数	回数	学校名	実施日	人数
1	前田小学校	6月7日	37	33	北都小学校	9月13日	70
2	聖心女学院(中学校)	6月11日	35	34	藤の沢小学校	9月14日	28
3	登寒東小学校	6月16日	70	35	真栄小学校	9月14日	92
4	定山溪中学校	6月17日	4	36	澄川南小学校	9月15日	56
5	東園小学校	6月17日	77	37	石山東小学校	9月16日	14
6	伏見小学校	6月21日	148	38	藤野南小学校	9月20日	61
7	上野幌東小学校	6月21日	50	39	北の沢小学校	9月21日	24
8	山の手養護学校	6月23日	12	40	平岸小学校	9月23日	107
9	石山南小学校	6月29日	36	41	青葉小学校	9月23日	36
10	西園小学校	6月30日	80	42	茨戸小学校	9月28日	26
11	平岡公園小学校	6月30日	118	43	藻岩南小学校	9月29日	39
12	東苗穂小学校	7月6日	42	44	平和小学校	9月30日	63
13	豊園小学校	7月7日	91	45	南小学校	10月4日	45
14	西岡小学校	7月8日	70	46	西陵中学校(特別支援)	10月5日	19
15	宮の森小学校	7月12日	118	47	篠路西小学校	10月6日	123
16	南月寒小学校	7月13日	108	48	大倉山小学校	10月7日	62
17	幌西小学校	7月14日	183	49	月寒小学校	10月13日	113
18	石山小学校	7月20日	31	50	常盤小学校	10月19日	52
19	澄川西小学校	7月21日	31	51	中央小学校	11月4日	103
20	真駒内桜山小学校	8月23日	112	52	南の沢小学校	11月8日	73
21	米里小学校	8月24日	104	53	定山溪小学校	11月9日	10
22	小野幌小学校	8月25日	86	54	旭小学校	11月10日	53
23	中の島小学校	8月25日	77	55	月寒東小学校	11月15日	99
24	東札幌小学校	8月26日	78	56	東山小学校	11月16日	71
25	真駒内公園小学校	8月31日	66	57	みどり小学校	11月17日	65
26	簾舞小学校	9月2日	32	58	西白石小学校	11月17日	31
27	平岸西小学校	9月2日	86	59	西野小学校	11月18日	51
28	山鼻小学校	9月6日	95	60	新琴似北小学校	11月22日	66
29	あやめ野小学校	9月7日	24	61	中沼小学校	11月24日	25
30	豊平小学校	9月7日	84	62	山の手小学校	11月24日	95
31	西野第二小学校	9月9日	127	63	上野幌小学校	11月30日	36
32	八軒北小学校	9月13日	73	64	北野小学校	12月6日	70
					合計		4,263

#### IV 小中高生団体出前体験プログラム

回数	学校名	実施日	人数	回数	学校名	実施日	人数
1	苗穂小学校	7月22日	90	6	有明小学校	9月6日	9
2	福住小学校	8月26日	110	7	清田緑小学校	9月8日	156
3	手稲宮丘小学校	8月31日	100	8	藻岩小学校	9月15日	58
4	琴似小学校	8月31日	83	9	福移中学校	11月17日	19
5	稲穂中学校	9月1日	122		合計		747

#### ⑥ 公共空間を利用した情報発信

○さっぽろ夏まつり大通西8丁目会場「ふるさと応援PRステージ(サッポロビール会場内)」において、アイヌ文化交流センターの紹介及びアイヌミュージックライブを行った。(平成28年8月1日(月))

○さっぽろ雪まつりと連動し、札幌駅前通地下歩行空間で実施された「チ・カ・ホイベント」の中で、アイヌ伝統文化交流コーナーを設け、アイヌ伝統文化体験(トンコリ演奏体験、プレスレッド制作、切り絵、民族衣装試着等)や工芸品販売を行った。(平成29年2月4日(土)～12日(日) 来場者数: 13,058人)



○札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ)の札幌駅側の柱にアイヌ文様タペストリーを設置し、アイヌ伝統文化を紹介している。また、「札幌の地名とアイヌ民族」紹介コーナーを設置し、アイヌの歴史や文化等に関する情報を発信している。

○アイヌ民族・文化に対する市民理解の促進を目的として、アイヌモニュメント(タペストリー)をJRタワー1階西コンコース及び札幌市役所本庁舎1階ロビーに設置している。

#### ⑦ 市民参加によるアイヌアートモニュメントの制作

市民がアイヌ文化に身近に触れる機会を創出するため、公募した市民20人がアイヌの指導のもと作成したタペストリーを繋ぎ合わせ、アイヌ文様大型タペストリー「イラムノアカラカラ(心を込めて一緒に刺繍)」を作成し、中央区民センターに設置した。



#### ⑧ シーニックバイウェイ支援事業(南区市民部)

区内の40団体(連合町内会、商店街、大学、集客施設等)により構成され、南区の魅力アップとPRを行っている「札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山溪ルート運営代表者会議」の活動を支援した。

※アイヌ文化交流センターは代表者会議の構成メンバーとして参加している。

<主なイベント>

○札幌シーニックバイウェイスタンプ deBINGO ラリー2016(4月29日～10月31日)

・スタンプラリー応募者数: 1,154人

・アイヌ文化交流センター来館者数: 831人

○公共施設等でのPRパンフレット配布

・南区内の公共施設等で、アイヌ文化交流センターが掲載されている札幌シーニックバイウェイ作製パンフレット「感動・寄り道GUIDE」を配布。

### ⑨ インカルシペ・アイヌ民族文化祭の開催を支援

札幌アイヌ協会が開催したアイヌ民族シンポジウム、ペウレアイヌの集い、ムックリ大会、トンコリ大会、アイヌミュージックコンサート、アイヌ民族の生活文化や歴史・人権等に関するパネル展示について補助を行った。

開催内容	開催日時	場所	参加者
シンポジウム	平成 29 年 1 月 27 日	札幌市教育文化会館講堂	92 人
ペウレアイヌの集い	平成 29 年 1 月 28 日	アイヌ文化交流センター	30 人
ムックリ・トンコリ大会	平成 29 年 1 月 28 日	アイヌ文化交流センター	46 人
アイヌミュージックコンサート	平成 29 年 1 月 29 日	アイヌ文化交流センター	140 人
パネル展等	平成 29 年 2 月 4～12 日	札幌駅前通地下歩行空間	※13,058 人
合 計			13,366 人

※コーナー全体の来場者数

(上記表については、委員会開催後「開催日時順」に修正しております。)

### ⑩ 札幌アイヌ協会への補助

アイヌ民族の歴史や文化に対する市民理解を促進するため、アイヌ文化の保存・伝承、各種学習会等の実施にかかる費用補助を行った。

### ⑪ アシリチェプノミ保存伝承事業補助（市民文化局文化部）

豊平川河川敷（南 7 条大橋上流左岸）において、アイヌ民族の伝統文化であるアシリチェプノミ（新しい鮭を迎える儀式）を再現することにより、広く市民に理解の輪を広げるとともに、その文化を保存・継承する取組を支援した（行事内で披露される「アイヌ古式舞踊」は国指定重要無形民俗文化財である。）。  
開催日：平成 28 年 9 月 11 日（日） 参加者：250 人

### ⑫ “イランカラテ”キャンペーンの推進

「北海道のおもてなし」のキーワードとして国が進める「“イランカラテ”（こんにちは）キャンペーン」を共同で推進するため、協議会に参加するとともに、札幌市役所本庁舎 1 階ロビーに設置しているアイヌアートモニュメント（タペストリー）の展示ケースでのキャンペーンロゴの掲示などの取組を行っている。



### ⑬ アイヌ文化を発信する空間の整備（まちづくり政策局都心まちづくり推進室、市民文化局市民生活部、交通局）

「地下鉄さっぽろ駅魅力アップ事業」及び「アイヌ文化を発信する空間の整備検討事業」を具現化し、地下鉄南北線さっぽろ駅コンコース部を世界都市さっぽろの玄関口、アイヌ文化の導入口にふさわしい空間とするため、平成 27 年度に開催した外部有識者による検討会議を踏まえて、「地下鉄南北線さっぽろ駅コンコース部（アイヌ文化を発信する空間を含む）整備構想」を策定した。また、「アイヌ文化を発信する

空間検討会議」を計6回開催し、アイヌ文化を発信する空間の具体的な整備内容（展示物を含む）について、外部有識者等から意見徴収を行い「アイヌ文化を発信する空間の基本設計」を実施した。

**（関連事業①）札幌芸術の森 30 周年記念 <sup>おり</sup> 北の織 いま昔（市民文化局文化部（公益財団法人札幌市芸術文化財団 札幌芸術の森指定管理事業））**

北海道における織物の歴史と現在を、北海道博物館、アイヌ文化振興・研究推進機構などの資料と、現在北海道内で活動する 25 名の織作家及び北海道を代表する織の 3 ブランドを展示し、北海道の織の「いま」と「昔」を紹介した。歴史資料の中には、初めて公開されたものもあり、北海道の織の歴史を知る貴重な機会となった。

開催日程：平成 28 年 7 月 16 日（土）～9 月 25 日（日） 72 日間

開催会場：札幌芸術の森工芸館展示ホール

入場者数：25,832 人

**（関連事業②）札幌アジア冬季競技大会（スポーツ局スポーツ部（公益財団法人第 8 回札幌アジア冬季競技大会組織委員会））**

第 8 回札幌アジア冬季競技大会において、（公社）北海道アイヌ協会などと協力し、以下のとおりアイヌの伝統文化を紹介した。

**【アイヌの伝統的手法による聖火の採火】**

さっぽろ雪まつり 5 丁目会場において、カラスマ（火打ち石）を用い、アイヌの伝統的手法を再現して採火を行った。（平成 29 年 2 月 5 日（日））

**【カムイノミ・分火式】**

聖火リレー終了後、札幌市役所本庁舎 1 回ロビーにおいて、神事『カムイノミ』を執り行った。その後、聖火の分火式を行い、市役所本庁舎や各区役所のほか帯広市役所や北海道庁などで展示した。（平成 29 年 2 月 6 日（月））

**【開会式におけるアイヌ古式舞踊の披露】**

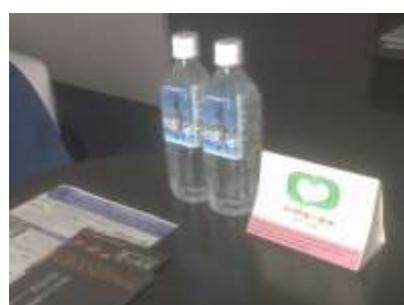
札幌ドームで開催した開会式において「自然と共に生きるチカラ」と題し、アイヌ古式舞踊を披露した。（平成 29 年 2 月 19 日（日））

**【選手向けアトラクション】**

選手ホテルで、滞在中の選手に楽しんでいただくアトラクションの一つとして、アイヌ民族楽器の演奏を行った。

**【ウェルカムカードの作成】**

ホテルに宿泊する大会関係者に向け、「イランカラプテ」のメッセージと紹介を添えたウェルカムカードを各部屋に用意した。



## 推進施策（2）：教育等による市民理解の促進

### 【市職員向け】

#### ① 新任課長職への研修の実施

新任課長職を対象として、アイヌ民族の歴史・伝統文化や現況、国の動向等について研修を行った。

開催日時：平成 28 年 11 月 22 日（火）

開催場所：札幌市アイヌ文化交流センター 参加者：84 人

#### ② 新採用職員への研修の実施（総務局自治研修センター）

新採用職員研修において、アイヌ民族の歴史や人権に関する研修を行った。

開催日：平成 28 年 4 月 4 日（月）・5 日（火）

開催場所：札幌市役所本庁舎 12 階会議室 参加者：518 人

### 【教職員・子ども向け】

#### ③ 札幌市民族教育に関する研修会（教育委員会学校教育部）

アイヌ民族による講演、学校にアイヌ民族を招いて行う学習の実践事例発表、アイヌ教育相談員を活用した学習の紹介のほか、「ムックリづくり」などの体験学習を行った。

開催日：平成 28 年 8 月 31 日（水）

開催場所：札幌市アイヌ文化交流センター

参加者：38 人

#### ④ 札幌市教育センター専門研修（教育委員会学校教育部）

初任教諭や中堅教諭等資質向上研修対象者を主な対象として、アイヌ文化や民族教育に関わる研修講座を実施した。

開催日：平成 29 年 1 月 6 日（金）

開催場所：札幌市生涯学習総合センター「ちえりあ」

参加者：49 人

#### ⑤ 札幌市研究開発事業（研究課題）「アイヌ民族に関する教育」（教育委員会学校教育部）

アイヌ民族に関する教育推進の諸課題を踏まえた教材の開発や指導方法の工夫等、実践的な調査研究を通して、アイヌ民族に関する教育の普及・啓発を図った。

- ・研究推進校における実践研究の実施

##### ○小学校 4 年生社会科の学習

自然と共に生きるアイヌの自然観にせまる授業を実施

アイヌが自然と共存する姿にせまる新聞を活用した授業を実施

##### ○中学校 3 年生社会科（公民的分野）の学習

複数のアイヌ政策の比較を通して、あるべき共生社会の姿について関心をもち、多角的に考えていく態度を育てる授業を実施

- ・アイヌ民具の貸出
- ・アイヌ教育相談員の学校派遣

## ⑥ 人権教育推進事業（教育委員会学校教育部）

「札幌市学校教育の重点」に位置付けている「人間尊重の教育」について、人間尊重の教育に向けた3つの視点（「校種間の連携による連続性のある教育の推進」、「教師自らの人間尊重の意識の向上」及び「子ども自身が自分を振り返り、人間尊重の意識の高まりに気付く手立ての構築」）に基づいた推進と充実を図った。

### ・研究推進校における実践研究

小学校2校、中学校2校で体験的な学習の進め方についての実践研究を実施  
（西岡北小、前田中央小、西岡北中、光陽中）

小学校6校で「サッポロピリカコタン」の活用に関する実践研究を実施  
（山鼻小、月寒小、平岸西小、常盤小、北の沢小、平和小）

### ・札幌市人権教育フォーラムを開催

有識者による講演や研究推進校における実践研究の成果に基づくグループワークを実施。

開催日：平成29年2月27日（月）

開催場所：札幌市生涯学習総合センター「ちえりあ」

参加者：33人

## 【市民向け】

## ⑦ 生物多様性さっぽろ活動拠点ネットワーク（環境局環境都市推進部）

「生物多様性さっぽろ活動拠点ネットワーク」は、平成25年3月に策定した「生物多様性さっぽろビジョン」に基づき、市内にある既存の環境関連施設を生物多様性に関する活動拠点として位置付け、ネットワーク化を図るもので、活動拠点間の情報の共有や連携・協働を進めることにより、生物多様性保全の取組を効果的に進めることを目的としている。

平成26、27年度に引き続き、札幌市アイヌ文化交流センターを「生物多様性さっぽろ活動拠点ネットワーク」の活動拠点の一つとして位置づけ、アイヌ民族の伝統文化や自然観の普及啓発を通じて、市民の生物多様性に対する理解の促進を図った。

## ⑧ 児童会館事業（子ども未来局子ども育成部）

西岡高台児童会館において、地域団体の協力のもと、アイヌの伝統楽器や伝統古式舞踊などの文化を学んだほか、伝統楽器の演奏体験をした。

開催日：平成29年1月14日（土）参加者：21人

## （関連事業①）さっぽろ市民カレッジ 学社融合講座（教育委員会生涯学習部（公益財団法人札幌市生涯学習振興財団 生涯学習センター指定管理事業））

市立札幌大通高校で開講している、さっぽろ市民カレッジ学社融合講座で「まちなかで触れるアイヌ文化」を実施。受講する市民と履修登録した大通高校の生徒に、アイヌ民族の歴史や文化（衣服・文化・言語・世界観）についての解説を行った。

参加者：一般受講生10人、高校生9人（全7回参加）

## 施策目標 2：伝統文化の保存・継承・振興

アイヌ民族の伝統文化を保存・伝承・振興するために、アイヌ文化交流センターで展示や各種イベントを引き続き実施した。また、埋蔵文化財センターでは展示室の更新に合わせてアイヌ文化期の資料を新たに展示した。

### 推進施策（1）：アイヌ民族の歴史を尊重する施策の推進

#### ① 埋蔵文化財センターでの出土資料の展示（市民文化局文化部）

平成 26 年度に埋蔵文化財展示室の全面的更新を行い、アイヌ文化期の出土資料を展示している。



### 推進施策（2）：伝統文化活動の推進

#### ① 札幌市アイヌ文化交流センターの運営

- i) 展示室等の運営
- ii) 啓発事業  
(再掲)
  - ・アイヌ文化体験講座
  - ・アイヌ文化交流センターイベント
  - ・アイヌ民族古式舞踊（輪踊り）
  - ・小中高校生団体体験プログラム
  - ・小中高校生団体出前体験プログラム



#### アイヌ文化交流センターの利用状況

年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
開館日数	293 日	296 日	296 日	298 日	297 日
来館者数	50,343 人 (172 人/日)	56,455 人 (191 人/日)	47,768 人 (161 人/日)	50,270 人 (169 人/日)	51,165 人 (172 人/日)
展示室 観覧者数	14,555 人	17,162 人	18,138 人	19,139 人	19,754 人

#### ② イベントの実施

- (再掲)
  - ・インカルシペ・アイヌ民族文化祭の開催を支援
  - ・公共空間を利用した情報発信
    - さっぽろ夏まつりふるさと応援 PR ステージイベントの実施
    - さっぽろ雪まつりチカホイベントの実施
    - アイヌ文様タペストリーの設置（地下歩行空間、JR タワー 1 階西コンコース、札幌市役所 1 階ロビー）
  - ・アシリチェプノミ保存伝承事業補助（市民文化局文化部）

### ③ 札幌地域イオル事業の受託及び実施

札幌地域におけるアイヌの伝統的生活空間再生事業（イオル事業）として、事業主体である公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構から事業を受託した。

- ・清田区内の市有地（2,000㎡）において、自然素材の栽培及び育成管理を行った。
- ・アイヌの民具づくり体験講座（5日コース）を2回実施。参加者：27人
- ・アイヌの伝統料理の調理と試食体験講座（1日コース）を2回実施。参加者：39人
- ・アイヌの子ども遊び体験講座（1日コース）を2回実施。参加者：39人
- ・札幌地域に在住するアイヌの方々（石狩アイヌ中心）から平成24年度から平成26年度にかけて聴き取り調査を行った明治初期のアイヌの生活や文化の記録について、札幌市ホームページに掲載した。

## 施策目標3：生活関連施策の推進

工芸品の展示販売スペースの設置を試行するとともに、アイヌの児童生徒を対象に学習支援を行ったほか、アイヌから寄せられた各種相談に対し、必要な助言等の対応を行った。

### 推進施策（1）：産業振興等の推進

#### ① 民芸品展示販売スペースの設置

さっぽろ雪まつりと連動し、札幌駅前通地下歩行空間で実施された「チ・カ・ホイベント」に設けたアイヌ文化交流コーナーにおいて、工芸品の紹介と販売を行う工芸品展示販売スペースの試行設置を実施した。

（平成29年2月4日（土）～12日（日）） コーナー全体の来場者数：13,058人

### 推進施策（2）：生活環境等の整備

#### ① 住宅新築資金等の貸付

アイヌの居住環境整備改善のため、住宅の新築、改修及び宅地の取得資金を準備した。

- ・貸付実績：なし

#### ② アイヌ生活相談員・アイヌ教育相談員の配置（市民文化局市民生活部・教育委員会学校教育部）

アイヌ生活相談員（2人）・教育相談員（1人）を配置し、各種相談に対応した。

- ・生活相談員相談件数：1,909件

（生活相談508件、教育相談150件、職業相談69件、その他住宅相談など1182件）

- ・教育相談員相談件数：273件

#### ③ アイヌの児童・生徒の学習支援

教育関係者やボランティア等の協力を得ながら、アイヌの児童・生徒を対象とする夏季・冬季学習会を開催し、支援を行った。

- ・開催日：（夏季）平成28年8月1日（月）～5日（金）  
（冬季）平成29年1月10日（火）～14日（土）
- ・開催場所：中央区民センター
- ・参加者：延べ64人

#### ④ アイヌ文化交流センター及び共同利用館の改修

アイヌ文化交流センターの屋内外展示物や施設の一部を改修するとともに、共同利用館の設備について、当面施設を使用していくために必要な改修を行った。